

アイデア・トレーニング・キャンプについて

1. 目的と概要

本キャンプは、異分野・融合領域における研究などの創造的な成果を生み出す能力の養成を目的とするもので、3日間連続で実施する。

企業が博士に求めていることは、優れた研究開発目標の提案とその目標の確実な達成である。これを他社との競争において優位に実現するためには、研究者一人ではなく、関係者全員のアイデアを引き出し、目標と達成プロセスを練り上げていくことが不可欠である。

本キャンプでは、価値の高い目標を設定し、それを合理的に達成するマネジメント手法を体験する。

2. 具体的な構成と狙い

(1) ガイダンス

(2) 全体討論：テーマ「AI時代の博士の能力とは何か、何が必要か」
各自が自分の能力を振り返り、さらに伸ばすための指針を得る。

(3) 個人発表：各自の現在の研究の紹介

異分野の先端研究を聞き、研究における広い視野を養う。

(あらかじめ準備をお願いします。「個人発表について」を参照)

(4) グループ討論：現在取り組んでいる研究のリファイン

グループメンバーの研究の中から2テーマを選びリファインする。

グループメンバー全員がアイデアを出し合い、徹底的に討論することの効果
を体験する。

(5) リファイン結果の発表

研究分野が異なる人にも研究の価値・効果が理解できるよう、明快で説得力のあるプレゼンテーションを追求する。

- ・ 目標の価値、達成プロセス、学術的な特長
- ・ リファインのポイント

3. 留意点

このキャンプは、専門分野の異なる参加者が互いを知り合い、理解し合う良い機会になる。全員が積極的に発言し、お互いを尊重しながら議論を深めてほしい。

アイデア・トレーニング・キャンプの日程

1. 期間・場所

期間：2018年5月16日（水）、17日（木）、18日（金） 場所：岐阜大学柳戸会館

2. 5月16日の集合時間・場所

時間：13:00（厳守） 場所：柳戸会館 1階集会ホール

※遅れそうな場合は速やかに連絡（058-293-3393）すること

3. スケジュール

【1日目】全体討議，個人発表

13:15 開会挨拶，参加者自己紹介，グループ分け

13:30 キャンプ全体についてのガイダンス

13:45 全体討論「AI時代の博士の能力とは何か、何が必要か」

14:30 研究概要発表（各発表時間：5分，質疑1分）（途中休憩2回）

18:00 解散

【2日目】リファインテーマの選定，グループ討論（選んだ研究テーマのリファイン）

※8:55までに柳戸会館に集合

9:00 グループ討論に関するガイダンス

9:30 各グループで，リファインする研究テーマ2点を選択

10:00 選んだ研究テーマをリファイン ※昼食は各自自由に

研究目標・研究プロセスのリファイン，まとめ，発表準備

17:30 柳戸会館施設：延長して議論する必要がある時は図書館2階プレゼンルーム／ラーニングcommons Cを各グループで予約し、議論を続ける

【3日目】発表，質疑応答，講評，表彰 ※8:55までに柳戸会館に集合

9:00 発表の進め方についてのガイダンス

9:10 発表

（グループAの2テーマ，1テーマあたり発表20分以内・質疑応答5分）

10:10 休憩

10:20 発表

（グループBの2テーマ，1テーマあたり発表20分以内・質疑応答5分）

11:20 投票，アンケート記入・回収，休憩

11:50 講評，表彰（ベストリファイン賞1テーマ，優秀プレゼン賞2名）

12:00 会場の後片付け，キャリアセンターまで荷物運搬後，解散

4. グループ

グループ A	グループ B
1.林 兼輔 Kensuke Hayashi	1.浅野 早知 Sachi Asano
2.佐々木 和也 Shinya Sasaki	2.Muhammad Syaiful Amri Bin Suhaimi
3.Go Sian Huai	3.Nur Syazwana Binti Rahman
4.Zhang Chanpeng	4.朝日 翔太 Syota Asahi
5.Moses Ahmed Daramy	5. Chandela Akash
6.Wang Fenglan (王鳳蘭)	6. Ahmad Tusi
7. 広瀬 遥 Haruka Hirose	7. Fang Chen (房景)
8.Panyapon Pumkao	8. Anita Maya Stedja
9.Fu Huizhen	9. Jiang Lei
10.Yolani Syaputri	10. Nayla Majeda Alfarafisa
11.Odoi Justice Opare	11. 東 義詔 Yoshitsugu Azuma

5. お願い

このキャンプは参加者全員で運営します。

教員は基本的なガイダンスとアドバイスは行いますが、発表・討論などの準備・時間管理・司会進行等は学生の皆さんが責任をもって自主的に行ってください。

互いを尊重し、メンバーの知恵を集めることにつとめ、楽しく効果的なキャンプになることを期待します。

アイデア・トレーニング・キャンプの準備・留意点

1. キャンプ初日（5月16日）までに準備するもの
自分自身および現在の主な研究を紹介する資料を作成して下さい。
1日目の個人発表で使用する他、テーマを選び、リファインする際に必要です。
 - (1) パワーポイント等で作成（発表時間：5分）
 - (2) 内容：自己紹介と研究紹介（「個人発表について」を参照）

2. キャンプ初日（5月16日）に持参するもの
 - (1) 「1」で準備した個人発表のパワーポイント等を印刷したもの
参加者全員に配布するため、22部印刷し持参してください。
印刷レイアウトは任せますが、バラバラにならないようにホチキスやクリップで留めてください。
 - (2) 個人発表に用いるパワーポイント等のデータ（USBメモリで）
 - (3) パソコン
グループ討論とそのまとめに必要です。各グループで相談し、必要と考える台数を持参してください。※プロジェクター2台、スクリーン2個、ホワイトボード、全体発表用PC2台はこちらで用意します。
 - (4) 研究に関する情報・データ
あなたの研究がグループでリファインする対象に選ばれた場合、リファイン・最終発表の材料として、研究に関する情報・データがあると役立つでしょう。誰の研究が選ばれるかは分かりませんので、各自PCあるいはUSBなどに必要な情報・データを保存し、持参すると良いでしょう。

3. 柳戸会館について
 - (1) インターネット接続の設備はありません。
 - (2) 5月18日は17:30に施錠します。
例年2日目のグループ討論に長時間かかっています。
それまでに終わらない場合は、他の場所で作業を続けてください。

個人発表について

1. 目的

(1) 互いを知る：自己紹介

ドクターコースに在籍する学生同士が専門分野を超え、信頼しあえる関係を作る。

(2) 互いの研究を理解する：研究紹介

(a) 各自が自分の専門分野以外の先端的な研究に触れ、科学的な視野を広げる。

(b) 2日目のグループ討論でリファインする研究テーマを選ぶため、それぞれの研究の目標と意味等を理解する。

2. 初日発表に盛り込む項目例とポイント

上記の目的に沿って、各自の考えで作成すること。参考までに基本的な項目の例を示す。

(1) 自己紹介（1分以内）

名前、所属学部学科研究室名、出身・経歴、趣味、

(2) 研究テーマ名

専門外の研究者に理解しやすい表現を併記する

(3) 研究の概要（3分）

具体的な目標とプロセスの概要を示し、研究全体の中での現在の位置（研究がどこまで進んでいるか）を示す。

(4) 研究の価値（1分）

目標が達成されたときの効果について、

(a) 目標の新規性と価値（社会へのインパクト）

(b) 研究方法の特徴（学術的な独創性）

などが分かるように説明する。

((5) 目標達成のプロセスにおける重要課題（これは2日目以降セレクトされた場合）

ブレイクスルーを要する課題とその達成方法案などを説明する)